

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2020年(令和2年)9月1日

会報 第113号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Steet396,Sangkat Boeng Keng Kong3,
Khan Chomkamon, Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707【ホームページ】 [カンボジア支援](#) [検索](#)【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大により、3月末から今に至るまで、カンボジア行き空路の大半が運休しております。そのためカンボジアに行くことができず、現地から写真や情報を送ってもらうなどして会報を作成しました。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

今年の前半は、3月にカンボジアを訪問しただけだ。後半(7月~12月)も行けない公算が高い。勿論、コロナウイルス感染拡大の影響による。

行けない理由は2つ。まずANA直行便が3月下旬から運休を続けているため、行く足がない。韓国のアジア航空が成田からインチョン経由でプノンペンまで飛んでいるらしいが、乗り継ぎ便は感染リスクが高く、とても乗る気がしない。

カンボジア政府の水際対策(防疫措置)も厳しく、事実上の入国拒否だ。PCR検査くらいは仕方ないが、入国時の3千ドル保証金支払い、搭乗者に1人でも陽性者がいたら、一緒に2週間隔離など常軌を逸している。

カンボジアの医療体制が未整備であることもあり、ウイルスが外国から持ち込まれることを強く警戒しているからだ。

が、コロナビジネスと揶揄されてもいる。しかしこれは諸刃の剣で、観光業が大打撃を被っている。統計がある4月をみると、日本人観光客は84人のみで前年比で99.5%減少した。観光ガイドは仕事がないため田舎に帰り、旅行会社やホテルなども軒並み休業を余儀なくされている。

カンボジア経済を支える衣料品や靴の輸出も伸び悩み、沢山の従業員が失業している。フンセン首相は、今年の経済成長率をマイナス1.9%になると見込んだが、アジア開発銀行はマイナス5.5%と予測している。

人権問題も根が深い。政権の野党潰しの経済制裁として、欧米諸国が関税の最恵国待遇を撤廃、8月から始まることになっている。カンボジア経済には「泣き面に蜂」になってしまった。

頼みの中国も、今はカンボジアを救済

するゆとりはない。

学校はといえば、3月半ばからすべての学校が休校しているが、8月から先ずインターナショナルスクールの開校を認める方針。大半が家賃を支払っているため、運営が厳しくなっていることもある。家賃負担のない田舎の小学校は、新学期(11月)になりそう。呑気な話だ。

日本もコロナ禍に加え水害が発生し、大変な事態ではあるが、日本は底力があり、国民も勤勉なので必ずこの難局を克服していくだろう。

カンボジアはすべての面で不十分なことが多く、この試練に耐えるだけの体力がない。外国からの輸血(資金援助)もままならない現状、ここはカンボジア人自身で踏ん張るしか道はない。

がんばれ、カンボジア!

瀕死のカンボジア経済を救うには

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長

根岸恒次

日本人篤志家の資金協力により3月に着工した小学校の新校舎がこの程完成、贈呈式(開校式)を待つばかりになった。

新校舎が完成したのは、メーボン小学校(プレイベーン県・生徒数1324人)とプノンビビア小学校(コンポンチャム県・生徒数11幼稚園児のみ50人)。

新校舎の贈呈式(開校式)は、新型コロナウイルスの感染拡大により日本とカンボジアを結ぶ空路が閉鎖され再開のメドが立っていないことから、運行再開後、日本人が参加できるようにしてから行うことにしている。

なおカンボジアの小学校は依然として休校が続いており、新校舎を使用するのは新学期(11月)からになりそう。

メーボン小学校



プノンビビア小学校



「二つの小学校に新校舎が完成」

創立20周年記念祝賀会開催のご案内

本会は、2000年1月に創立して以来、ここに20周年を迎えるに至りました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

つきましては、創立20周年を記念し心ばかりの粗宴を催したいと存じます。ご多用の折誠に恐縮ではありますが、何卒ご臨席賜りますよう、謹んでご案内申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染防止策として、テーブルにお座り頂く折に隣席と間隔を取り、食事はバイキング式ではなく、お一人ずつ料理を運ばせて頂きますので、安心してご出席くださいませ。

- ◎日時 2020年12月12日(土) 午後1時~3時
- ◎会場 京王プラザホテル 47階 あさひの間(JR新宿駅西口 徒歩10分)
- ◎会費 1万円(郵便振込票にて事前送金をお願いいたします)
既に会費を納付された方はこの限りではありません。
- ◎参加申込み締め切り日 11月12日(木)

【主な内容】

記念式典・会食会・20年の歩みをスライド上映、その他

本会会員でなくても出席可能です。お申込み、お問合せは下記へ。

☎03-3991-2854 ファクス03-3557-1213

E-mail: info@aac21.net

「グローバルフェスタJAPAN 2020」中止のお知らせ

例年10月第1土曜日と日曜日の2日間、お台場で開催されていた標記イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。5月3日~4日の「カンボジア・フェスティバル」に続き年間の2大イベントが中止になり、とても残念です。来年に期待しましょう。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば75年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【教育里親会費】子ども1人につき1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

児童養護施設

夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在、11歳～15歳の男子5人が暮らしていますが、3月からすべての小・中・高校が休校しており、子どもたちは帰省したり、園内で学習したりしています。

■9月末に閉園します

既報の通り、夢ホームは9月30日をもって閉園いたします。約10年間、会員の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。残っている5人の子どもたちは郷里に戻ったり、一部は夢ホームの近所にアパートを借りて通学し、高等学校を卒業するまで本会が教育サポートを継続致します。



5人の子どもたち

カンボジアの小学校に7つの井戸が完成



北海道札幌西陵高等学校ボランティア局様寄贈の井戸



平和・かそけしF川崎・秋田様 寄贈の井戸



根谷崎 百合子様 寄贈の井戸

6月17日、現地スタッフが7つの小学校を回り、井戸贈呈式を行った。カンボジアの小学校は、コロナウイルス感染防止のため3月から休校しているが、校長先生に依頼して一部の生徒が登校、少人数で行った。

日本からの参加が難しいため、訪問可能になってから改めて各小学校を訪問、井戸の仕上がり状態などの点検を行う予定。

6月に完成した井戸の内訳

	寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1	北海道札幌西陵高等学校ボランティア局	ポートリア小学校	569人	コンボンチャム県
2	北海道札幌西陵高等学校ボランティア局	プレイタベス小学校	434人	コンボンチャム県
3	平和・かそけしF川崎・秋田様	スワイ小学校	509人	コンボンチャム県
4	松原 睦美様	ボトムサコー小学校	140人	コンボンチャム県
5	松原 睦美様	トゥレイ小学校	593人	コンボンチャム県
6	武藤 和義・康代様	トモダー小学校	240人	コンボンチャム県
7	根谷崎 百合子様	ブレボー小学校	690人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年～): 351基 (6月現在)



武藤和義・康代様 寄贈の井戸



松原睦美様 寄贈の井戸

投稿

コロナとカンボジア

プノンペン在住、会社員
青木 貴之



プノンペン市内

6月22日現在、感染者129名/回復者/127名/死者0名という状況であり、感染者全員が入国時の発覚で、国内での感染は無しという状況です。

政府が発表したもので信頼性には欠けますが、実際にコロナでの死者や医療崩壊などの噂は全くありません。近年カンボジアも、FacebookなどのSNSの普及により、政府による隠蔽は難しくなっています。

政策としては、2月13日、タイや日本で拒否されたウエステルダム号の受け入れ入港、3月17日より公立私立の学校閉鎖、3月28日より入国制限が始まり現在に至ります。

4月のカンボジア正月は帰省禁止で徹底した道路封鎖が行われ、これはプノンペンで働く庶民には絶望的なことでしたが、素早く強制的なフンセン首相の英断と感じました。

直接病気の影響は皆無ですが、外国依存の経済は悪影響が大きく、観光業、外国企業は人員削減、営業を中断する企業も多くあります。

一般市民の生活としては、3月中旬より一斉に人々の外出が減り、プノンペン名物の渋滞が一切なくなりましたが、5月から徐々に通常通りに戻っています。プノンペンのイオンモールは連日大繁盛で、以前より人が多い気がします。

結論としまして、カンボジアは金欠ですが健康です。

新校舎建設の着工式を行いました

6月16日、クラチエ県内の2つの村の小学校で、日本人篤志家の資金協力による小学校校舎建設の着工式が行われた。日本から出席ができないため、すべて地元の皆さんが準備、執り行われた。

校舎建設が始まったのは、ドーンボック小学校(クラチエ県スヌオル郡ドーンボック村、生徒数204人)とポットソクロム小学校(クラチエ県スヌオル郡トノール村、生徒数100人)。

両学校とも古びた木造校舎が1棟あるのみで、3教室の新校舎ができれば、より多くの子どもたちの通学が可能になる。

新校舎は11月に完成し、贈呈式(開校式)には日本からも多数出席の予定。



ドーンボック小学校



ポットソクロム小学校

教育支援をお願いします!

「ケメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて事務局までご一報ください。

(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)

また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854



ソーン・フンちゃん
(女の子)

トゥールサコウ小学校
3年生 (10歳)

- 親死、父親のみ。
- 7人兄弟の末っ子。
- 好きなこと＝縄跳びをすること



ダー・ナヴィンちゃん
(女の子)

トゥールサコウ小学校
3年生 (9歳)

- 家族構成＝父親離婚、母親のみ。
- 妹が1人いる。
- 好きなこと＝本を読むこと



コーン・スレイノッチちゃん
(女の子)

トゥールサコウ小学校
3年生 (11歳)

- 家族構成＝父親離婚、母親のみ。
- 3人兄弟の真ん中。
- 好きなこと＝縄跳びをすること



トルーン・リアップちゃん
(女の子)

トゥールサコウ小学校
3年生 (9歳)

- 家族構成＝両親がいる。
- 3人兄弟の末っ子。
- 好きなこと＝本を読むこと



チュム・ソックリンちゃん
(女の子)

トゥールサコウ小学校
4年生 (10歳)

- 家族構成＝父親離婚、母親のみ。
- 妹が1人いる。
- 好きなこと＝本を読むこと

投稿

マスク

東京都渋谷区在住、会員
今 紀子

ずっと昔、見た映画です。一人の気の弱い青年が魔法のマスクをつけると、たちまち百人力に変身するというお話。

こんなマスクがあったらどんなにいいでしょう。最近暴れている細菌軍団相手に大活躍したに違いない。

現実にはさにあらず。終わりの見えない StayHomeにマスクを求めて長い行列が続いている。

商店街を歩いている人は、一様に白いマスクをつけている。何だか病院にいるようだ。心が折れそうになる。もっとマスクを楽しめないものだろうか。

そんな時、ある方から手作りのマスクをいただいた。桜もようのマスク。何ておしゃれなんでしょう。

さっそくつけて散歩に出かけた。心が弾んでくる。向こうからやってくる母子は同じマスクをつけている。かわいい。きっとお母さんが子供とおそろいで、作ったのでしょう。

そうだ!手作りマスク大作戦開始!

幸い布もある。ゴムもある。作る時間は無限にある。

手作りマスクで百人力に大変身!

いざ、出陣!

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

●コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座へ送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。

●事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500 円
・お米(50キロ入り)	4,500 円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000 円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000 円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000 円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000 円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地へ行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12,600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

5月下旬、4月と5月分を届けた。



教育支援金を届けました

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在341人の子どもたちを教育支援している。

3月20日にカンボジアから帰国後今に至るまで、コロナウイルスの影響でカンボジアを訪問していない。今後も見通しは立っていない。

カンボジアは、WHO指導のもと3月から休校が続いており、どうやら新学期の11月まで継続されるようだ。9カ月間も休校して、子どもたちの学力に影響ないのだろうか心配するが、感染拡大予防のためならやむを得ない措置と信じるしかない。幸い里子たちは自宅で元気に暮らしており、通学再開を心待ちにしている。(根岸記)



元気で暮らす子どもたち

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 新聞配達、がんばっています!

サム・コッサール



朝の新聞配達

写真提供: 遠藤 啓様

私はサム・コッサールといいます。カンボジア人で24歳です。

私はカンボジア・メコン大学の学生ですが、留学のため今年3月26日に日本に来ました。

私は勉強しながら、新聞配達のアルバイトをしています。朝刊は午前1時に起きて配り、夕刊は午後2時から配ります。1週間に一日休みます。

最近日本はコロナウイルスの影響で仕事の無い人がいますが、新聞配達は休めません。

朝起きるのは大変ですが、慣れれば平気です。頑張るしかありません。

※サム・コッサール君は、小学校6年から高校3年まで7年間、夢ホームで暮らしました。その後日本人の支援により、メコン大学で日本語を学びました。東京都内の読売新聞販売所で1年3カ月の契約で働いています。

「夢ホーム」は9月末日に閉園します

2009年3月、会員の皆様のご厚意によりコンポンスプー県に開設した児童養護施設「夢ホーム」は、既報の通り9月末日をもち閉園する。

「夢ホーム」は、両親のいない子や家庭環境が悪く通学困難な子どもたちの受け皿として、多い時で20人もの子どもたちを受け入れ、多くの子どもたちが自立し巣立っていった。

しかし、昨今の経済成長に伴い「夢ホーム」近隣にも沢山の縫製工場ができ、農村の暮らしが改善されつつある。

そこで「夢ホーム」は、社会的使命を果たし得たという評価のもと、約10年間の歩みを終えることになった。

現在入園している5人の子どもたちについては、本人が希望すれば高等学校を卒業するまで、別の形で教育支援を継続していく。



食事をする子どもたち(2012年頃)



開園式(2009年3月)

ウォッチ カンボジア

コロナ太り?

カンボジアも日本同様学校が休校になり、社会全体が自粛モード。お寺で暮らす少年僧も動きが鈍く、コロナ太りのようだ。



写真提供: 遠藤 啓様

コロナに 負けない!



投稿

カンボジアの交通事情

東京都西東京市、会員
佐々木 英介

つい3年前までのカンボジア都市部の交通事情はとてもひどい有様でした。

道路そのものは決して狭くはなく、歩道も確保されてはいても、歩道は駐車場代わりに使われているだけでなく、店からは、道路上にまでテントを広げて商品を並べられていますし、冠婚葬祭の時などは、道路一杯に広げたテントの中で式を行っていますから、当然車は通れません。苦情が来れば注意することもあるようですが、これらは暗黙の了解のようです。

殆どの交差点には信号機がないので、ラッシュ時には車の大渋滞が起きてしまいます。

二車線の道路であっても、僅かな隙間にも車が割り込み、瞬間に五車線へと変化し、センターラインなど役にも立ちません。

車の隙間にもトゥクトゥクが割り込んでいきますし、更に多くのバイクがそれらの隙間を埋めていきます。このような渋滞にハマってしまうと、1キロの距離を移動するのに1時間以上かかってしまいますから、歩くほうがずっと早いと言えます。

ブンペンにはその頃既に市営バスがありましたが、3路線だけでしたし、いつ来るかわからないようなバスなど役にも立ちません。ですから街なかでの移動は、結局トゥクトゥクやバイクタクシー、シクロ(自転車タクシー)や乗用車のタクシーを利用するしかありませんでした。ところが、この3年間でそれらが大きく変化しました。

JICAその他による支援によって瞬間に首都圏の信号機設置が進んで、渋滞が緩和されただけでなく、日本が大量のバスを

提供したことによって、バス路線も13まで増えました。

しかも、料金は一律1500リエル(約40円)で、70歳以上の高齢者や1歳未満の子供、身障者、僧侶、教師、学生、工場労働者は無料、更にスマホのバスアプリを利用すれば、クメール語がわからない外国人でも、近くのバス停だけでなく下車すべき場所まで表示されるので、現在では驚くほどバスの利用者が増えています。

更に、インドから輸入されたオートリクシャが、スマホの配車アプリの普及と共に短距離移動の主導権を握り、その結果、これまで庶民の足として利用されてきたトゥクトゥクなどが次々と姿を消しています。

何しろ、配車アプリを利用すれば、自分の最寄りの車を予約でき、更に行き先をアプリの地図上に入力するので乗車後も指示を出す必要はないし、料金もスマホに表示されるので、運転手との会話は不要なのです。

首都圏では、車の数は年々うなぎのぼりに増え続けてはいますが、主要な交差点への信号機の設置が進むことによって車の流れがスムーズになり、更に車の邪魔になっていたトゥクトゥクなどの減少によって、渋滞はあるものの、数年前までのような大渋滞は見かけなくなってきました。

とは言え、車の増加が続く限り現状維持はできないでしょうし、次の手が不可欠と言えます。



オートリクシャ

2020年度 里子訪問・学校訪問の旅 年間日程表

回	成田出発日	成田帰国日(延泊)	申込期限
終了 第44回	3月5日(木)	3月11日～(13日)	2月5日
中止 第45回	7月2日(木)	7月8日～(10日)	6月2日
第46回	11月5日(木)	11月11日～(13日)	10月5日

本会の会員状況をお知らせいたします
(2020年6月末日現在)

●教育里親会員	246名
●個人会員	99名
●団体会員	8団体
●寄付協力者(単発)	55名
合計	408名

書き損じハガキ・未使用切手
・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

■45「里子訪問・学校訪問の旅(7月催行)」は、コロナウイルス感染拡大のため中止となり、次を11月5日～11日に予定していますが、ANA直行便が運休になれば中止せざるを得ません。毎日ではなく週2～3便でも運行してくれると有難いです。

■5月3日～4日に予定していた「カンボジア・フェスティバル」(代々木公園)に続き、10月3日～4日に予定していた「グローバルフェスタ」も、コロナウイルス感染予防のため中止になりました。

■創立20周年記念祝賀会は12月12日に開催を予定しております。その頃までにコロナウイルスが終息の方向に向いてくれると嬉しいのですが。

■創立20周年記念祝賀会は12月に延期しましたが、創立20周年記念誌(100頁)は予定通りに完成しました。1冊千円(送料込み)でお送りしますのでご希望の方は事務局までご連絡願います。

8月～10月の予定

会報「アンコールワット」9月1日付第113号発行

第46回「里子訪問・学校訪問の旅」について

11月5日～11日に予定している第46回「里子訪問・学校訪問の旅」ですが、コロナウイルスの世界的感染拡大により、現時点で開催の見込みが立っておりません。9月末頃には催行の可否が判明しますので、訪問を希望される方は事務局へお問い合わせ願います。



春さんのカンボジアレポート ～カンボジア入国規制～

現在のカンボジアへの入国要領。まず、日本で新たなビザを取り、入国72時間以内に発行されたコロナ陰性証明を取り、3,000ドルを用意し、そして5万ドル以上の旅行保険に加入します。

到着・入国して、乗客はまず3,000ドルを預けた後に隔離場所へ移動します。この費用が5ドル、次にPCR検査で100ドルです。検査結果が出るまで3日～4日間待ちます。1泊30ドル、食事3回で30ドル、洗濯等24ドルです。

乗客の中に一人でも陽性者が出ると、更に2週間延長待機となります。また随時検査で100ドル必要です。最短で3日間約400ドル。1回延長の場合、17日間で約1,700ドルになります。この金額が預けた3,000ドルから引かれ、残りが戻ってきます。これではほとんど入国拒否です。

この水際対策有料化は観光復活に大きく水を差す政策で、観光業界からは落胆の声が上がっています。9月になれば緩和されるでしょうが、先のことは分かりません。

(写真出典＝Khmer Times)



里親会員 鈴木春男
(カンボジア・シェムリアップ在住)

活動に参加しませんか

正会員として

■教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

■個人会員(年額5千円)

■団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

*** ** *

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座 0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通 4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

創立20周年記念誌が完成しました

本会は2000年1月に創立後、昨年12月に丸20年が経過しましたが、その間の記録を一冊の本にまとめました。100頁、モノクロですが懐かしい写真を沢山掲載、カンボジアを知る意味でも必読の一冊です。

会員の皆様には送料込み一冊千円で郵送いたします。是非お求めください。(郵便振込票をご利用ください)

☎ 03(3991)2854 FAX 03(3557)1213

E-mail:info@aac21.net



20年の思いを込めて

編集後記

カンボジア支援に尽力されたNPO法人「アジア

の子どもの就学を支援する会」(東京都あきるの市)理事長、長谷川安年様が7月1日に永眠されました。92歳でした。

長谷川さんがカンボジア支援を始めたのは2007年、79歳の時でした。以降毎年2回カンボジアを訪問、13の小学校校舎を建て寄贈しました。いくつになっても志さえあれば夢が叶うものだ実感しました。

また、鈴木春男さんのお話で、25年前にカンボジアに来られ、カンボジア人女性と結婚して5人の子どもを育てていた日本人男性が6月15日に亡くなりました。76歳でした。ご本人の希望だったのでしょうか、1週間後、シェムリアップのトンレサップ湖で散骨されたそうです。

限りある人生、悔いだけは残さないよう完全燃焼したいものです。



- ・「日本国際協力財団」の助成で「縫製技術習得のための職業訓練」実施(3年間・ブノンペン)
- ・「2007年」小中学校に遊具及びサッカーコートを贈る活動開始(現在まで58校に贈呈)
- ・「2009年」児童養護施設「夢ホーム」開設
- ・「2010年」(コンボンスプー県・2020年9月末日閉園予定)
- ・鈴木千雄さん指導による板金加工「もの作り技能講習会」開始(2016年まで25回実施・夢ホーム)
- ・第1回小学校対抗サッカー大会開催
- ・「2011年」(2017年まで10回実施・コンボンスプー県)
- ・「2014年」榎戸徹彦さん指導による「鋳造によるアクセサリ技術講習会」開始(42回実施し活動継続中・夢ホーム)
- ・カンボジア政府より免税措置を受け現地車両購入(ニッサンピックアップトラック)
- ・「2016年」「カンボジアフェスティバル」に初出席(現在まで毎年出展継続中・東京代々木公園)
- ・カンボジア語講座を開催(2017年まで3回実施・銀座事務所)
- ・「カンボジアセミナー」開催(2017年まで2回実施・JICA地球ひろば)

本会は今年、創立20周年を迎えました。これもひとえに、会員の皆様のご支援の賜物と、篤く御礼申し上げます。ここに20年間のあゆみを掲載させていただきます。



創立10周年記念祝賀会(2010年4月)